

令和3年度 公益財団法人さかた文化財団事業報告

事業概要

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、土門拳記念館及び酒田市美術館の管理及び運営を行い、定款で定める目的達成のため、各事業を実施した。

土門拳記念館は写真家土門拳の残した功績と現代における作品の意義・魅力を伝えることを柱に、酒田市美術館は、地域を支える美術館として近代及び現代美術作品を中心とする収集・展示や、市民の創作活動の発表の場を提供した。また、相互の幅を広げた両館の共同企画展(今森光彦展)を行った。

両館ともに、地域の文化活動の拠点としての役割、及び他地域から酒田市を訪れる契機となる施設としての役割を認識し、事業の質を担保しながら入館者増に努めてきた。

公益事業

土門拳記念館及び酒田市美術館での作品展示を中心に、市民の文化芸術等に関する活動等の支援及び育成、普及啓発、情報発信、交流及び協働の促進、資料収集、保存、調査研究等を実施する事業を行った。

I 土門拳記念館公益事業

- 1 土門拳作品展示事業
- 2 写真文化普及啓発事業
- 3 写真作品等保存管理事業
- 4 教育普及事業
- 5 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業
- 6 調査研究事業
- 7 施設（土門拳記念館）管理運営事業

II 酒田市美術館公益事業

- 1 展示事業
- 2 美術品保存管理事業
- 3 教育普及事業
- 4 酒田市美術館 PR 及び広域情報提供事業
- 5 調査研究事業
- 6 施設（酒田市美術館）管理運営事業

Ⅲ 土門拳記念館・酒田市美術館 交流・協働 促進事業

Ⅳ 土門拳賞及び酒田市土門拳文化賞関連事業

- 1 「土門拳賞」受賞作品の展示・保存事業
- 2 「酒田市土門拳文化賞」募集選考及び受賞作品の展示・保存事業
- 3 写真文化普及啓発事業

収益1 作品貸付事業

所蔵する作品を他美術館等の展覧会及び出版社やテレビ企画会社その他へ貸付提供し、収蔵作品を広く伝える事業を実施した。

収益2 資料頒布事業

展覧会に関連する書籍や写真集、物品及びオリジナルグッズ等の販売事業を実施した。

収益3 施設提供（貸館）事業

市民の創作活動の発表の場として、酒田市美術館市民ギャラリーを展示用備品と共に貸し出す事業を実施した。

会議等に関する事項

1 評議員会及び理事会について

令和3年度の評議員会及び理事会を下記のとおり開催し、全て原案どおり同意・承認・可決された。

(1) 評議員会

① 令和3年度定時評議員会

- ・日 時 令和3年6月27日（日）14：00～
- ・場 所 酒田市民会館希望ホール
- ・案 件

《専決報告》

- 1 定款の専決について
- 2 定款施行細則の専決について
- 3 報酬等規程の専決について
- 4 令和3年度（6月～令和4年3月）事業計画の専決について
- 5 令和3年度（6月～令和4年3月）収入支出予算の専決について
- 6 諸規程等の専決について
- 7 事務局長の選任について

《決議事項》

- 1 評議員の選任について
- 2 理事の選任について
- 3 監事の選任について
- 4 報酬等規程の改正について
- 5 公益財団法人土門拳記念館令和2年度事業報告について
- 6 公益財団法人土門拳記念館令和2年度収入支出決算について
- 7 公益財団法人酒田市美術館令和2年度事業報告について
- 8 公益財団法人酒田市美術館令和2年度収入支出決算について

《報告事項》

- 1 基本財産の承認について
- 2 情報公開審査委員会の選任について

② 令和3年度 第1回臨時評議員会 ※書面文書報告(9/17)

《報告事項》

- 1 令和3年度収入支出補正予算(第1号)
- 2 令和4年度土門拳記念館展示計画

③ 令和3年度 第2回臨時評議員会

- ・日 時 令和4年3月19日(土) 10:30～
- ・場 所 酒田市美術館 市民ギャラリー
- ・案 件

《報告事項》 ※令和4年3月6日開催 理事会決定事項

- 1 令和3年度収入支出補正予算(第2号)について
- 2 令和4年度事業計画について
- 3 令和4年度収入支出予算について

《その他》

- 1 故佐藤昌祐氏ご遺族からの寄附受領について
- 2 令和3年アンケート結果について
- 3 スクールプログラムについて(令和3年度実施状況及び令和4年度予定)

(2) 理事会

① 令和3年度第1回通常理事会

- ・日 時 令和3年6月12日(土) 14:00～
- ・場 所 酒田市美術館 市民ギャラリー

・案 件

《専決報告》

- 1 定款の専決について
- 2 定款施行細則の専決について
- 3 報酬等規程の専決について
- 4 令和3年度（6月～令和4年3月）事業計画の専決について
- 5 令和3年度（6月～令和4年3月）収入支出予算の専決について
- 6 諸規程等の専決について
- 7 事務局長の選任について

《決議事項》

- 1 基本財産の承認について
- 2 情報公開審査委員会の選任について
- 3 公益財団法人土門拳記念館令和2年度事業報告について
- 4 公益財団法人土門拳記念館令和2年度収入支出決算について
- 5 公益財団法人酒田市美術館令和2年度事業報告について
- 6 公益財団法人酒田市美術館令和2年度収入支出決算について
- 7 令和3年度定時評議員会の開催について

《報告事項》

- 1 公益財団法人土門拳記念館理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について
- 2 公益財団法人酒田市美術館理事長及び館長理事の職務執行状況について

② 令和3年度 第1回臨時理事会

- ・日 時 令和3年6月27日（日）15：45～
- ・場 所 酒田市民会館希望ホール1階ホワイエ
- ・案 件

《決議事項》

- 1 理事長の選定について

③ 令和3年度 第2回臨時理事会

- ・日 時 令和3年9月4日（土）14：00～
- ・場 所 酒田市総合文化センター 412特別室
- ・案 件

《決議事項》

- 1 令和3年度収入支出補正予算（第1号）について

《報告事項》

- 1 理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について
- 2 第27回酒田市土門拳文化賞について

《その他》

- 1 令和4年度酒田市土門拳記念館展示計画について
- 2 今後の展示の方向性等についての意見交換
- 3 その他

④ 令和3年度 第2回通常理事会

- ・日 時 令和4年3月6日（日）10：00～
- ・場 所 酒田市公益研修センター 中会議室
- ・案 件

《決議事項》

- 1 令和3年度収入支出補正予算（第2号）について
- 2 令和4年度事業計画について
- 3 令和4年度収入支出予算について
- 4 令和3年度第2回臨時評議員会の開催について

《報告事項》

- 1 理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について
- 2 故佐藤昌祐氏ご遺族からの寄附受領について

《その他》

- 1 アンケート調査結果について
- 2 スクールプログラムについて

2 公益財団監査について

(1) 定例監査

①土門拳記念館

- ・日 時 令和3年7月26日（月）16：00～
- ・場 所 土門拳記念館
- ・対 象 令和3年4月1日から令和3年5月31日まで

②酒田市美術館

- ・日 時 令和3年7月26日（月）15：00～
- ・場 所 酒田市美術館
- ・対 象 令和3年4月1日から令和3年5月31日まで

令和3年度 酒田市土門拳記念館 事業報告書

《概要》

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市土門拳記念館の管理運営を行い、それを通じて、芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的としている。

この目的を達成するための事業は下記のとおりである。

- (1) 土門拳作品展示事業
- (2) 写真文化普及啓発事業
- (3) 写真作品等保存管理事業
- (4) 教育普及事業
- (5) 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業
- (6) 調査研究事業
- (7) 施設(土門拳記念館)管理運営事業

令和3年6月から令和4年3月までの10か月間の総入館者数は、12,246人で対前年度同期比2,756人増である。しかし、前年度は11月から1月まで工事のため休館としていたことから、休館の月を除く比較では353人の減となっている。

来館者が県外客中心である当館においては、首都圏等の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の発出のたびに、戻りつつあった来館者が再び減少するという状況を繰り返した。

さらに、令和4年1月及び2月の来館者数は過去最低を記録した。これは、同時期に発出された山形県まん延防止等重点措置に起因し、県内客の足も遠のいたものと推測される。

コロナ禍前の令和元年度同時期と比較すると、11,114人の減で47.6パーセントの減となっており、コロナ禍による自粛ムードが入館数に大きく影響したものと考えられる。これを理由に、酒田市から指定管理料の増額の手当が講じられた。

そういう中であって、消毒、検温、記名など、コロナ対策を講じながら、来館者が安心して展示を楽しめる環境づくりに心がけた。

「土門拳の新しい作品はない。展示の切り口をどうしていくか。」という考えのもと、新たな視点での土門作品の展示、発信に努めた。

公益事業

1 土門拳作品展示事業

酒田市所蔵品である土門拳作品をテーマ別に構成する企画展示と、土門と他作家の組み合わせなどによる特別展示を実施した。

(1) 企画展示

① 展覧会名 「古寺巡礼 大和」「日本工房時代」「ヒロシマ」「第 27 回酒田市土門拳文化賞受賞作品展」

会期 7 月 15 日(木)～10 月 3 日(日) 入館者数 4,280 人

※ただし、「ヒロシマ」は 7 月 15 日(木)～9 月 2 日(木)、「第 27 回酒田市土門拳文化賞受賞作品展」は、9 月 4 日(土)～10 月 3 日(日)

② 展覧会名 「古寺巡礼 京都」「土門拳が撮った藤田嗣治『猫と女とモンパルナス』」「第 40 回土門拳賞受賞作品展 大竹英洋『ノースウッズー生命を与える大地ー』」

会期 10 月 6 日(水)～12 月 22 日(水) 入館者数 4,712 人

③ 展覧会名 「傑作選-ポストカード・コレクション-」「ドモン異色作品?」「庭の風景」

会期 1 月 4 日(火)～4 月 3 日(日) 入館者数 1,468 人(3 月 31 日まで)

(2) 特別展示

① 展覧会名 「亀倉雄策と土門拳 時代を創った二人の仕事」「今森光彦『自然と暮らす写真のまなざし』」

会期 4 月 22 日(木)～7 月 11 日(日) 入館者数 1,786 人(6 月 1 日から)

※ただし、「今森光彦 自然と暮らす写真のまなざし」は、5 月 22 日(土)から 7 月 10 日(土)

| |
|--|
| 企画・特別展示観覧者数 12,246 人 (開館以来の観覧者数 2,021,778 人) |
|--|

2 写真文化普及啓発事業

第 27 回酒田市土門拳文化賞の選考会を実施し、授賞式と併せて土門拳記念館で受賞作品展を開催したほか、東京、大阪でも受賞作品展を開催した。また、第 28 回酒田市土門拳文化賞を公募した。さらに、全酒田写真連盟主催の土門拳杯写真コンテスト入賞作品展の展示を開催した。

期日 7 月 15 日(木)～7 月 22 日(木) 場所 土門拳記念室

3 写真作品等保存管理事業

(1) 原板を含む収蔵品整理保存事業

① 収蔵庫・各展示室に常時温湿度計を設置し、24 時間記録し室温湿度管理に努めた。

②土門拳写真原板(フィルム、ポジ)劣化対策と保存について、以下のとおり実施された。(市予算)

- ・ガス検知器による数値測定、原板状態の確認、収納
- ・フィルムの包材交換
- ・危険性が高い原板の経過観察(クリーンブース使用)
- ・保存用プリント100点制作(モノクロバライタプリント長期保存処理 六つ切)
- ・プリント収納箱へ有毒ガス吸着シート挿入

(2)ソフトウェアを利用した、収蔵作品資料の整理

- ・既存の「T-CATシステム」から新「早稻田システム」へのデータ移行作業を進めた。

4 教育普及事業

(1) ギャラリートークなど展示作品理解を深める事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数を制限して実施した。

期日 10月9日(土)大竹英洋氏ギャラリートーク 参加人数 34人 場所 企画展示室Ⅱ

(2) 外国語資料(8か国語)、建築資料、子供向け資料の配布

(3) 拳ちゃんこどもまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 写真に対して興味を開く親子ワークショップは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 写真展「わたしのこの一枚」の実施

展示期間 1月4日(火)～1月23日(日) 参加人数 147人 場所 土門拳記念室

「わたしのこの一枚」オンライン展の実施

実施期間 1月24日(月)～3月31日(木) 参加人数 31人 場所 記念館HP

(6) 館内映像コーナー及びSNSによる視聴覚教材の活用

(7) ミュージウムコンサート等、建物空間を生かす事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数を制限して実施した。

①期日 7月3日(土) 林竜也氏 ギター 参加人数 19人 場所 主要展示室

②期日 10月11日(月) 被爆ピアノコンサート 参加人数 38人 場所 主要展示室

③期日 10月31日(日) 澤田守秀氏 スネアドラム 参加人数 30人 場所 主要展示室

④期日 令和4年2月12日(土)「吉野弘の詩をよむ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(8) 飯森山公園との連携

飯森山公園のあじさい開花の時期に楽之会の協力を得て「あじさい呈茶」を実施した。

期日 7月11日(日) 参加人数 30人 場所 企画展示室Ⅱ

(9) 酒田市文化芸術関連事業への参画

アートマルシェの時期に合わせ、アーティストインレジデンスの会場として土門拳記念館で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(10) スクールプログラムの実施(酒田市教育委員会主催)

市内の小・中学校を対象とした本事業では、土門拳記念館及び酒田市美術館における鑑賞活動の充実を図ることにより、多様性を認める心豊かな子供たちの育成を目指すものである。本年度は試行期間と定めて開催された。

参加校 琢成小学校

なお、総合学習で当館を訪れた市内小中学校は、9校あった。

5 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業

(1) 各媒体による展示情報等 PR 及び観光情報等を提供した。

(2) 年間入館券購入者へポイントカードを配布し、来館に誘った。

(3) 土門拳記念館開館記念日の無料開放の実施

入館者にポスターを無料配布した。

(4) ミニギャラリーの実施

市民への土門拳記念館の周知のため、「素顔の土門拳」と題してユージン・スミスとの懇談写真などを展示した。

期間 令和4年1月7日(金)～1月14日(金)

場所 酒田市役所 フリースペース 東

(5) お年玉プレゼントの実施

各日先着 10 名にくじ引きで記念館関連グッズをプレゼントした。

期間 令和4年1月8日(土)～10日(月)

(6) ANA 株主様限定ツアー(バックヤードツアー)の実施

期日 令和3年3月25日(金) 参加人数 18人

(7) ホテル宿泊者優待券の発行、記念館展示掲載酒田市広報持参者割引の実施

6 調査研究事業

国立国会図書館、土門拳写真研究所等にて所蔵品、特別展の作品・作家などに関する調査、研究を実施した。

東京都写真美術館にて研修を実施した。 期間 11月1日～6日 学芸員 田中耕太郎

7 施設(土門拳記念館)管理運営事業

条例、規則、仕様書等に基づき、土門拳記念館の適切な管理運営を行った。

II 土門拳記念館・酒田市美術館 交流・協働 促進事業

毎月1回、合同学芸部門会議及び財団経営企画会議を開催し、各事業について情報共有、検討を行った。

1. 共同展示事業

(1)特別展示

第28回土門拳賞受賞作家、今森光彦氏の写真と絵画の領域をそれぞれの館の特徴を生かして展示した。

第1会場：酒田市美術館「今森光彦～切り紙の世界～展」

期間 5月22日～7月9日

第2会場：土門拳記念館「今森光彦『自然と暮らす写真のまなざし』」

期間 5月22日～7月10日

III 土門拳賞及び酒田市土門拳文化賞関連事業

1 「土門拳賞」受賞作品の展示・保存事業

毎日新聞社主催第40回土門拳賞の受賞作品展の実施及び受賞者ギャラリートークを実施した。

第40回土門拳賞受賞者、受賞作品

- ・大竹英洋「ノースウッズー生命を与える大地ー」
- ・収蔵作品 カラー 28点
- ・展示期間 10月6日(水)～12月22日(水)
- ・受賞者ギャラリートーク 10月9日(土) 参加人数 34人 場所 企画展示室II

2 「土門拳文化賞」募集選考及び受賞作品の展示・保存事業

(1) 酒田市土門拳文化賞選考及び受賞作品の展示・収蔵を実施した。

① 第27回酒田市土門拳文化賞公募及び選考等

- ・応募者数/点数 124人(35都道府県)/128点(3,391枚)
- ・選考委員 江成常夫氏、大西みつぐ氏、藤森武氏
- ・選考会 6月11日 場所 酒田市勤労者福祉センター
- ・授賞式(市主催) 9月5日 場所 土門拳記念館

② 第27回酒田市土門拳文化賞受賞者、受賞作品

酒田市土門拳文化賞 鈴木 渉 (埼玉県入間市)

「福島祭祀巡礼」(カラー 30枚組)

奨励賞 宇佐見富士夫 (福島県須賀川市)

「原発事故避難 いまだ先行き見えず」(モノクロ 30枚組)

中田 要(三重県桑名市)「つくり笑いが上手くなりました」(モノクロ 30枚組)

吉永友愛(長崎県長崎市)「潜伏キリシタン考」(モノクロ 30枚組)

③ 第 27 回受賞作品の展示収蔵

- ・酒田市土門拳文化賞受賞作品 プリント 30 点 額装展示
- ・奨励賞 3 作品 一部額装及び アルバム展示
- ・展示期間 9 月 4 日(土)～10 月 3 日(日) 企画展示室Ⅱ、土門拳記念室
- ・巡回展 東京展 会期 11 月 23 日(火)～12 月 6 日(月) ニコンプラザ東京
大阪展 会期 12 月 23 日(木)～令和 4 年 1 月 12 日(水) ニコンプラザ大阪

なお、コロナウイルス感染拡大防止のため延期にされていた第 26 回酒田市土門拳文化賞受賞作品展の巡回展を実施した。

東京展 会期 8 月 17 日(火)～30 日(月) ニコンプラザ東京

大阪展 会期 7 月 8 日(木)～21 日(水) ニコンプラザ大阪

(2) 第 28 回酒田市土門拳文化賞作品募集開始

令和 4 年度選考及び受賞作品展を予定

3 写真文化普及啓発事業

酒田市土門拳文化賞友の会(歴代受賞者の会)と連携し、文化賞に関連する普及啓発及び情報発信を行った。

- ・第 10 回酒田市土門拳文化賞交流会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・11 月 22 日東京交流会・12 月 22 日大阪交流会実施
- ・会報 10 号発行及び会員活動の情報発信等の協力

収益事業

1 作品貸付事業

土門拳の作品を他美術館等の展覧会及び出版社その他へ貸付提供し、収蔵作品を広く伝えた。

① 令和 3 年 6 月～令和 4 年 3 月貸付件数 41 件

② 館外での土門拳展(個展以外含む)

「フジフィルムスクウェア企画展『日本の世界文化遺産』」

会期 7 月 1 日～20 日 場所 フジフィルムスクウェア(東京都)

「土門拳が撮った『藤田嗣治』」

会期 令和 4 年 3 月 22 日～6 月 3 日 場所 ノエビア銀座ギャラリー(東京都)

③ 土門拳写真集の発刊

令和 3 年 5 月 (株)小学館刊 SUMO 本「土門拳」初版 25 部 印税 10% 880,000 円

令和 4 年 3 月 (株)クレヴィス刊「土門拳の風貌」

初版 4,000 部発行 印税 6% 712,800 円

2 資料頒布事業

土門拳写真集や関連書籍、絵はがき、グッズなどを館内外で販売した。

また、特別展や土門拳賞受賞作品展の関連写真集、書籍、グッズ等も館内で販売した。
酒田市ふるさと納税の登録も継続した。

令和3年度オリジナルカレンダーの制作、販売

2022年 土門拳写真の旅「洛西-寂-」A2サイズ 1,200部

令和3年度 酒田市美術館 事業報告書

《概要》

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市美術館の管理運営を行い、それを通じて、芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的としている。

この目的を達成するための事業は下記のとおりである。

- (1) 展示事業
- (2) 美術品保存管理事業
- (3) 教育普及事業
- (4) 酒田市美術館 PR 及び広域情報提供実施
- (5) 調査研究事業
- (6) 施設（酒田市美術館）管理運営事業

市民の憩いの場として親しまれ、愛されるよう令和3年度においては5回の特別企画展の実施を中心に上記の各事業を行って来た。特に特別企画展「つくる展」は入館者が13,000人を超えて好評を博し、全体的には世界的なコロナ禍の影響が出た昨年度と比較して若干の回復基調が見えた。結果令和3年度の総入館者数は35,913人、対前年度比で5,553人の増となった。

このような状況下ではあったが、特別展の変更や延期など三密を避ける工夫、消毒、検温、記名など館内の感染対策を徹底し、安心して入館し鑑賞できる環境づくりに努めた。

コロナ禍の終息は当面難しい状況であり、この社会状況に即した取り組みが今後益々求められると思われる。

一方で、組織体制の充実、財務体質の強化、様々な時代の要請に対応することを目的とした土門拳記念館との合併を6月1日に行い新規学芸員を採用し新体制づくりを着実に実施した。

また、アートマルシェ事業やスクールプログラム事業の取り組みによる教育普及の拡充にも重点を置いて事業を実施した。また酒田市広報等を利用して美術館を内外に発信する PR に努めた。

公益事業

1 展示事業

展示事業は、収蔵作品による計画的な一般展示と、国内外の優れた美術作品の紹介、及び子どもにも喜ばれる展示を加味した特別展示の二本立てとして実施した。

(1) 特別展示

① 展覧会名 「今森光彦 自然と暮らす切り紙の世界展」

会期 5月22日(土)～7月9日(金) 入館者数 3,041人 ※数値は6月1日から

本展覧会は、2009年に第28回土門拳賞を受賞した写真家・今森光彦の切り紙作家という一面を紹介する展覧会として、約140点の切り紙作品を展示した。また、新財団となり、連携展示として土門拳記念館では土門拳賞受賞作品やライフワークとなっている「里山」の写真作品を中心に展示した。ハサミ1本で創り出す作品は子ども達中心に人気を集めた展覧会となった。

② 展覧会名 「つくる展-TASKO ファクトリーのひらめきをかたちにー」

会期 7月17日(土)～8月29日(日) 入館者数 13,206人

本展覧会では、ものづくりにおける「つくる」をキーワードに、ものづくりのプロ集団「TASKO」がこれまでに制作してきた作品に加えて、新たにオリジナルで制作したものを展示した。山形テレビとの共催でCMやYouTubeなどでPRを図った。また、当館の図面を用いたオリジナル作品「画面の中のつくる展」もネットで公開し、当館として初めての試みにチャレンジした展覧会だった。

③ 展覧会名 「魔女がやってきた 角野栄子展」

会期 9月4日(土)～10月17日(日) 入館者数 5,470人

本展覧会では、2018年に世界中の優れた児童文学の作家と画家に贈られる「国際アンデルセン賞」作家賞を受賞した角野栄子の作家としての歩みを紹介した。「魔女の宅急便」や「小さなおばけシリーズ」など角野の代表作を手がけた画家たちの表現豊かな原画と、角野が書いた創作ノートや原稿をまじえて展示した。角野の作品は、世代を超えて愛される作品が多く、大人から子供まで人気の展覧会であった。

④ 展覧会名 「第76回県美展酒田巡回展・第63回こども県展」

会期 11月10日(水)～11月15日(月) 入館者 1,701名

本展覧会は県内最大の公募展であり、県内芸術家たちの創作発表の場として、地域の芸術文化の振興に大きな役割を果たし、今年度も酒田市では彫刻部門で県展賞を輩出し、入選・入賞合わせて138点を展示した。また、こども県展は、県内の幼児から中学生までの入選・入賞作品を317点展示した。会期中、子ども連れの家族や幼稚園での団体利用が多かった展覧会だった。

⑤展覧会名 「板橋区立美術館・豊島区所蔵 池袋モンパルナス 一画家たちの交差点ー」

会期 11月20日(土)~2022年1月10日(月・祝) 入館者数 2,105人

本展覧会は、地域創造の助成を利用して、しもだて美術館（茨城県）、瀬戸市美術館（愛知県）、当館の3館の巡回展であった。池袋モンパルナスの芸術家を中心に展示したほか、庄内地域の池袋モンパルナスの画家として斎藤長三と今井繁三郎を紹介した。また、連携展示として東北芸術工科大学（三瀬夏之介ゼミ）による「東北画は可能か？」を彫刻回廊で開催した。MAPや展覧会グッズは酒田出身イラストレーターrikko氏が担当し、展覧会を盛り上げた。また、「高校生と劇団ワンライブによる詩の朗読会」の様子をYouTubeで会期中配信するなど、大学や高校、地元の劇団など連携を図り様々な人が交流する展覧会となった。

(2) 一般展示

収蔵作品の中から、森田茂の「風景」「黒川能」など新田嘉一コレクション、酒田市所蔵作品、斎藤長三作品、佐藤昌祐作品、高橋剛作品などを展示した。

| | | |
|---------------|---------|------------------------|
| 一般・特別展示観覧者数 | 27,860人 | (開館以来の観覧者数 1,254,376人) |
| 市民ギャラリー観覧者数 | 3,927人 | |
| 喫茶利用者数 | 4,126人 | |
| 総入館者数 | 35,913人 | |
| ※ホテル宿泊者優待券の発行 | | |
| ※喫茶セット券の販売 | | |

2 美術品保存管理事業

(1) 収蔵作品について、引き続きその状態調査を行い、美術品管理台帳の整備を進めながら、安全かつ適正な状態で保存するよう努めた。また、傷んだ作品に対する修復作業も次のとおり実施した。

絵画作品修復作業（酒田市予算と当財団予算で実施）

- ・修復作品：斎藤長三 《城山残照》
- ・修復期間：8月19日（木）～12月15日（水）
- ・委託機関：東北芸術工科大学 「文化財保存修復研究センター」
- ・修復者：米田 奈美子 氏
- ・修復内容：絵画層の亀裂・浮き上がりの接着強化処置・補彩
- ・実施場所：東北芸術工科大学 「文化財保存修復研究センター」

(2) 収蔵庫・展示室の温湿度管理

・収蔵庫・各展示室に常時温湿度計を設置し、24時間記録し室温管理に努めた。

(3) 収蔵品データベースの公開

2019年1月1日に改正された著作権法第47条「美術の著作物等の展示に伴う複製等」に基づき、寄託作品等の一部の例外を除き、著作権の失効の有無にかかわらず、収蔵作品のポジフィルムをデジタルデータに変換し、サムネイル画像を美術館HPで公開し、検索出来るようにした。

令和3年度登録作品：22作品

公開作品合計：245作品（森田茂、國領経郎、斎藤長三、高橋剛作品など）

3 教育普及事業

(1) ワークショップの開催

- ①期 日 9月4日（土）～10月17日（日） 観覧者参加型ワークショップ
内 容 「みんなでつくろう 魔女の思い出ワンピース」 場所 エントランス
- ②期 日 9月4日（土）～10月17日（日） 観覧者参加型ワークショップ
内 容 「教えて！叶えて！見て聞いて！ 魔女への手紙」 場所 エントランス
- ③期 日 10月3日（日） 内容「魔法をえがこう-おまじないお絵かき-」
講 師 イシザワエリ氏（アートワークショップデザイナー/マルイシ工作室主宰）
参加人数 10人 場所 市民ギャラリー・美術館中庭
- ④期 日 12月5日（日） 内容「絵の具でトントン！ふしぎなせかい」
講 師 松村泰三氏（東北芸術工科大学准教授）
参加人数 32人 場所 ミーティングルーム

(2) ギャラリートークの開催

- ①期 日 10月17日（日）
展覧会名 「角野栄子展」
講 師 当館学芸員 参加人数 25人 場所 各展示室
- ②期 日 11月20日（土）
展覧会名 「板橋区立美術館・豊島区所蔵 池袋モンパルナス-画家たちの交差点-」
講 師 当館学芸員 参加人数 10人 場所 各展示室
- ③期 日 11月27日（土）
展覧会名 「板橋区立美術館・豊島区所蔵 池袋モンパルナス-画家たちの交差点-」
講 師 当館学芸員 参加人数 12人 場所 各展示室

④期 日 11月28日(日)

展覧会名 「板橋区立美術館・豊島区所蔵 池袋モンパルナス-画家たちの交差点-」

講 師 当館学芸員 参加人数 19人 場所 各展示室

⑤期 日 令和4年3月12日(土)

展覧会名 「酒田市美術館収蔵品 生誕100年佐藤昌祐展」

講 師 川島崇史氏(酒田市社会教育文化課) 参加人数 14人 場所 各展示室

(3) 講演会の開催

①期 日 令和4年2月27日(日)

展覧会名 「酒田市美術館収蔵品 生誕100年佐藤昌祐展」

内 容 「修復家・米田奈美子氏による講演会」

講 師 米田奈美子氏(東北芸術工科大学 文化財修復保存科 講師)

参加人数 17人 場所 展示ホール

(4) ミュージウムコンサート・サイン会・その他

①期 日 12月19日(日)

展覧会名 「板橋区立美術館・豊島区所蔵 池袋モンパルナス-画家たちの交差点-」

内 容 「高校生×劇団ワンライブによる詩の朗読会」

出 演 酒田西高等学校、酒田光陵高等学校、酒田南高等学校の生徒、劇団ワンライブ(代表 梅津一生氏ほか)

参加人数 22人 場所 展示ホール

②期 日 12月26日(日)～令和4年1月10日(月・祝)

展覧会名 「板橋区立美術館・豊島区所蔵 池袋モンパルナス-画家たちの交差点-」

内 容 高校生×劇団ワンライブによる詩の朗読会」のYouTubeチャンネル配信

視聴回数 140回(うち高評価8件)

(5) 子ども美術展の開催

酒田飽海造形教育連盟と共催 令和4年1月26日～2月6日 入館者677人

(6) 教職員視察ウィーク

酒田市内の教職員に向けて、美術館や展覧会に対する理解を深めていただくため、「教職員視察ウィーク」を実施した。本事業は、普段の授業での鑑賞学習や、校外学習での美術館利用の参考にしていただき、学校と美術館の情報交換及び連携の推進を目的とし期間中は特別展・常設展ともに観覧料を無料としている。

①展覧会名 「魔女がやってきた 角野栄子展」

期 間 9月4日(土)～9月10日(金)

参加者 16名

②展覧会名 「板橋区立美術館・豊島区所蔵 池袋モンパルナス-画家たちの交差点-」

期 間 11月20日(土)～11月26日(金)

参加者 2名

(7) スクールプログラムの実施(酒田市教育委員会主催)

市内の小・中学校を対象とした本事業では、土門拳記念館及び酒田市美術館における鑑賞活動の充実を図ることにより、多様性を認める心豊かな子供たちの育成を目指すものである。本年度は試行期間と定めて開始し、年間725名の児童・生徒が参加した。学校によっては、予習、ふりかえりの授業を実施し、その成果を文化祭などで発表し、授業内容の充実を図っている。

①今森光彦「自然と暮らす切り紙の世界」展(6/1～7/9)

参加校 亀ヶ崎小学校、黒森小学校、平田小学校、南平田小学校、西荒瀬小学校、
一條小学校、琢成小学校

参加人数 230名

②魔女がやってきた 角野栄子展(9/4～10/17)

参加校 南平田小学校、八幡小学校、西荒瀬小学校、平田小学校、琢成小学校、黒森
小学校、浜中小学校

参加人数 216名

③池袋モンパルナス展 画家たちの交差点(11/20～1/10)

参加校 第六中学校、琢成小学校、西荒瀬小学校、南平田小学校、十坂小学校

参加人数 279名

4 酒田市美術館PR及び広域情報提供事業

- (1) 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等へ出来るだけ掲載・放送してもらうよう積極的に依頼活動をした。
- (2) チラシ、ポスターによるPRにあたっては、新型コロナ感染拡大・予防のため、県内を中心に郵送にて配布した。
- (3) YouTubeチャンネルで美術館の外観、イベントの様子などを配信した。

5 調査研究事業

収蔵作品、特別展の作品・作家その他に関する調査、研究

- (1) 「池袋モンパルナス展」に向けて庄内地区の作家及び庄内地区の美術団体の資料を調査し、池袋と庄内の芸術の広がりを検証した。また、その成果として図録を編集・制作した。
図録：「板橋区立美術館・豊島区所蔵 池袋モンパルナス—画家たちの交差点—」
※収録論文：「庄内の画家たちと池袋モンパルナス」 学芸員主任 武内 治子

6 施設（酒田市美術館）管理運営事業 当館の維持管理業務

収益事業

1 サービス提供事業

(1) 観光情報の提供

酒田市観光パンフ、他館のチラシ、その他

(2) 物品販売

- ①当館オリジナルグッズ（絵葉書、図録、マグカップ、クリアファイル、一筆箋）
- ②図録、所蔵作品や作者関連の書籍、展示関連グッズ
- ③地元出版物で、本館で販売可能と思われるもの

(3) オリジナルグッズの開発

- ①「池袋モンパルナス展」では、巡回展用のグッズ（絵葉書、手拭い、トートバッグ、マスキングテープ）を地元のイラストレーターrikko氏とともに開発したほか、当館オリジナルグッズとして斎藤長三（絵葉書）と今井繁三郎（絵葉書、クリアファイル）のグッズを開発した。
- ②「生誕100年 佐藤昌祐展」では、絵葉書、マグカップ、一筆箋を開発した。

2 施設提供(貸館)事業

- (1) 市内外の美術愛好家（個人・団体）の発表の場、学習の場として、出来るだけ多く市民ギャラリーを開放するよう努めた。

（「令和3年度年度市民ギャラリー入館者集計」参照）

(2) Sakata アートマルシェ 2021 事業への貸館及び企画協力

Sakata アートマルシェ 2021

主催：酒田市、酒田市文化芸術推進プロジェクト

- ①佐藤タカヒロ漫画原画展 デビューからバチバチシリーズ『鮫島、最後の十五日』まで
期 間 9月14日（火）～26日（日）

内 容 株式会社秋田書店とご遺族協力のもと、当館学芸員監修で、酒田市出身の漫画家・佐藤タカヒロの代表作バチバチシリーズを中心に原画約 90 点を展示した。漫画の構想段階で描かれたラフ画や遺族監修のアトリエの再現など、会場限定でしか見られない貴重な資料も多く、大変見ごたえのある展示となった。全国から駆け付けた佐藤タカヒロファンや地元の人が多く来場した展示であった。

場 所 当館市民ギャラリー

②佐藤タカヒロ漫画原画展関連企画 酒田が生んだ漫画家佐藤タカヒロ展

期 間 8月3日(火)～10月3日(日)

内 容 酒田市立図書館に佐藤タカヒロ特設コーナーを設け、遺族と図書館職員の協力のもと、当館学芸員が監修で原画3点を展示した。

③佐藤タカヒロ漫画原画展関連企画 トークイベント漫画家 佐藤タカヒロを語る

期 間 9月19日(日)

内 容 株式会社秋田書店週刊少年チャンピオン編集部 松岡秀和氏を講師に開催した。コロナウイルス感染症感染防止を考慮し、講師のみオンライン上での登壇となった。コメンテーターは当館学芸員が務めた。

場 所 酒田市公益研修センター公益ホール